

(様式3)

自己評価結果票

6/27レラティブ別府

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	職員と共に作り上げた具体的な理念がある。理念を生かしたケアを心がけている。	理念を生かしたケアを心がけているが、新しい職員にも広げていく必要を感じている。実践していく中、地域とのつながりを意識し取り組んでいきたい
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念をホーム内や、さりげなくトイレにも掲示し職員全員が意識できるようにしている	理念を生かしたケアを心がけているが、新しい職員にも広げていく必要を感じている。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	理念をもとにケアを行っている。日々のケアを家族と共有できるよう連絡を取っている。家族への広報誌にも毎回理念を掲載しお互いが理念を意識できるよう努めている	運営推進会議の資料に理念を載せている。地域の方への取り組みがまだ不十分なので職員と共に検討していく
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	散歩時には近隣の方と顔見知りになっているので、挨拶や立ち話などはしている。喫茶・美容院との連携はできており、協力を得られている	地域の方が来られるのは少ない。立ち寄りやすく知るための広報がまだ不十分。今後デサービスを始めることをきっかけに地域のかたの立ち寄りいただけるようにしたい
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	近隣の小学生や幼稚園児の福祉体験を受け入れている。体育会や音楽会、夏祭りにも参加させていただいて交流を図っている。パチンコ福祉体験にも参加させせいただき、他施設との交流も図っている	自治会・老人会との交流を持つために自治会長や民生委員との連絡を継続していきたい。広報活動や運営推進会議の開催を通じ事業所の情報を開示しホームを理解してもらおう機会を増やしていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	地域の高齢者との関わりがなくまだできていない 相談に来られたときには話をきき相談・援助を 行っている		近隣のかたがもっと立ち寄りやすく気軽に相談で きる体制をとっていきたい。公園の草引き・草木 の手入れをきっかけに地域のかたとの交流を図っ ていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 第三者評価を実施する意義を理解し、評価 を活かして具体的な改善に取り組んでいる	リーダー社員は評価の意義を理解し役立てようと している。職員にはまだまだ理解不足はみられ る。		ミーティングなどで全員が理解できるようにして いく。また自己評価実施後に個別に話していき理 解できるようにしていく
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行っており、サービス内 容や年間の報告をしている。民生委員や家族から も意見を頂き参考にしている		会議には民生委員などの協力は得られているが、 まだ自治会長の参加にはいたっていない。今後も 協力をえられるように取り組んでいく
9 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以 外にも行き来する機会をつくり、市町とと もにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居者さまの担当ケースワーカーやあんすこのケ アマネと連携をとり意見を頂けるようにしている		地域の連絡会に参加し情報を得たり区のケース ワーカーと連携をとりサービスの向上に努めてい る
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	入居者の中には後見人制度を利用されいる方も おり、一部分の職員は理解している		全員が理解できるように制度に関しての学が機会 をもつ。年間の勉強会の予定に入れていく
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	月1回の勉強会を行っておりその中で学ぶ機会を もった。また、いつでも閲覧できるように共有の 場所にファイルしている		今後も勉強会の中に虐待防止関連法について学が 機会をもつ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に契約書・重要事項説明書で十分な説明を行っている		納得されるまで説明し疑問点を聞きやすい雰囲気を作るよう努力していく
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者から意見が出やすいように1対1の関係作りも行っている。意見や苦情は管理者・職員で共有しすぐに対応するよう努めている		隠された苦情・伝えられない方の苦情に気づく体制を整える
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	日々の生活や変化など報告はこまめに行っている。毎月1回の手書きのお手紙を送るようにしている。また、家族と入居者が自由に電話で話せるよう支援している		物品購入時や外出。体調の変化時など家族の報告している。出来る方には、本人からの電話連絡もしている。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や不満など聞くよう面会時に声掛けはしているが、特別な時間はとっていない。運営会議などで外部のかたがおられる時に表せる機会をもちたい		隠された苦情・不満に気づく体制を整える。家族様がどの職員とでも話せる雰囲気を作っていきたい。意見・不満などを受けたときには、管理者・職員で共有しすぐに対応していきたい
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者と自由に話せる機会はある。昼食も一緒にとり発言しやすくしている。		もっと自由に意見や提案を引き出せる雰囲気をつくりホームに反映させたい。
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	家族からの要望や急な状況の変化に対応できるよう、リーダーがフリーの時間を持てるように調整している		人員の関係でまだ不十分な日もあるが、調整している。リーダー・社員はどのユニットでも対応できるようにしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の退職による移動はやむを得ないが、入居者への配慮は行っている</p>		<p>止むを得ない場合以外は職員の退職・異動を最小限に抑える努力をしている。代わる場合は十分な説明をし理解を求めるようにしている</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各職員の係り・担当を決め学習する機会を設けている。外部の研修等の資料案内を閲覧できるようにしている。学んだ知識は月1回の学習会を通じて共有できるようにしている</p>		<p>研修報告書で報告し再確認できるようにし、内部学習会でほかの職員にフィードバックしている</p>
<p>20</p> <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連絡会に参加しネットワーク作りをしている。他ホームへの見学や、他ホームと一緒に外部でのレクレーションを行っている</p>		<p>他ホームの職員・入居者とかかわりながら、お互いの質の向上を目指している</p>
<p>21</p> <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者と自由に話せる機会はある。昼食も一緒にとり発言しやすくしている。食事会を設け、自由に話しやすい雰囲気をつくっている</p>		<p>運営者と職員の接点を持つためにも、運営者が各フロアに立ち寄り会話する機会を持っている</p>
<p>22</p> <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>実績・勤務状況の把握はできているが向上心をもてるような働きがまだ不十分である</p>		<p>年間計画をたて、外部自習の機会を設けている。また、内部研修の講師をすることでやりがいをもてるようにしている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前から本人・家族と十分な時間をとり、いつでも見学に来てもらえる体制がある。体験入居もあり不安なく利用できるようにしている</p>	<p>今後、デイサービスを開始予定しており利用者の方が不安なく入居していただけるよう支援していきたい</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前からご本人・家族さまのと十分な関わりを持てるようにしている。いつでも見学・相談に来ていただける体制はある</p>	<p>隠された不安がないか十分な聞き取りが必要。質問し易い雰囲気を出すように心がけたい</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受け今現在必要とされているサービスが提供できるように支援している。</p>	<p>デイサービス開始も含め地域の同業者と連携し、必要とされているサービスが提供できるよう努める</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前から本人・家族と十分な時間をとり、いつでも見学に来てもらえる体制がある。体験入居もあり不安なく利用できるようにしている</p>	<p>体験入居・デイサービスの利用により自然になじめるように支援していきたい</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>しっかりとした理念の基「共に生きる」を実践している</p>	<p>入居者さまの尊厳を大切に、入居者さまから教えていただく事の多さを職員全体が意識していく</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との関係も「共に生きる」の理念の基、利用者さまと一緒に支えている</p>		<p>本人・家族・職員共により関係を築いていけるよう努力している。</p>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>利用者・家族がより良い時間を持てるよう支援している。家族さまと一緒に外出・外食も自由にしていただいている</p>		<p>職員全員が入居者・家族を理解していきサポートしていく</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居者の中には以前住んでいた近隣のと関係を継続されており、友人の面会もある</p>		<p>家族以外の面会にも来所しやすい雰囲気をつくる</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者の中には職員と一緒にほかの方の介助をしたり、またほかの居室に訪問にいたり、よい関係ができている</p>		<p>状況を見ながら職員が入り過ぎないように見守りを行っている</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退去された場合でも気軽にご相談いただける体制はとっている。</p>		<p>病院に入院・退去がある中、了解のもと面会をしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に生活歴や趣味嗜好を伺うようにしている。本人からの聞き取りが困難な場合でも、家族の協力を得て検討している</p>	<p>日ごろより入居者さまや家族さまとよい関係を作り希望を聞き取りやすい雰囲気に努めている。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居にあたり、在宅時のケアマネや家族から情報を得るようにしている。</p>	<p>家族さまやご本人とコミュニケーションを十分にとっていく。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>カンファレンスを開きひとり一人の状況を把握し共有している。毎日の申し送りの中で情報の共有を行っている</p>	<p>職員間の連携を十分にとり、日々の王仕送りのなかで細かなケアまで把握できるようにしている</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンスを開き職員の意見交換をしている。介護計画には本人・家族の意見を取り入れるようにしている</p>	<p>意見の出にくい家族がまだある。意見を出しやすいような体制を検討していきたい</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>カンファレンスを毎月行い職員全員で検討している。介護計画見直しが必用になれば、計画を立て直しているが、ケアが優先し出来ていないときもある</p>	<p>ケアと並行しながらでも計画の中でのケアを実施していきたい。また家族とは電話での意見交換が主になっている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のケアは記録できているが記録の方法にばらつきがある。</p>		<p>毎月のカンファレンスを基にケアは行っているが、記録がまだ一部できていない職員がいる。共有できるように工夫していく必要がある</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外部のサービスと連携をとり必要とされているサービスに繋がれるように支援している</p>		<p>今後の外部との連携をとりながら支援していく。またデイサービス・ショートステイを開始できるように体制を整えていく</p>
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>民生委員とは連絡をとり運営推進会議に参加してもらっている。小学校・幼稚園との交流とも定期的に行っている</p>		<p>ボランティアの訪問あるが、もっと多くの方の協力を得られるように取り組んでいきたい</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>地域のグループホーム連絡会に参加し、情報交換を行っている。他ホームの運営会議にも参加し、交流している。</p>		<p>ケースワーカー・ケアマネ・他の福祉事業所との連絡も行っている。家族の相談にも必要により支援している</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括には運営会議などの協力を得ている。また入居についての相談を受け、一緒に検討している</p>		<p>認定調査・運営推進会議など協力を得ている。またサービスの情報も連携をとっている</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医とは24時間対応で連携がとれており医師から家族への説明も希望すれば対応している。また、地域の歯科・総合病院にも受診している		かかるつけ医は利用者を十分に把握している。家族様からの信頼も厚く、適切な指導・説明を受けられる
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	地域の神経内科の受診も行っている。かかりつけ医が、認知症に詳しく入居者・家族職員との信頼感ができている		認知症と医療（高齢者）の勉強会を行ったが継続できていない
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護の利用を行い医師・看護師とも連携が取れている。細かな相談にも対応してくれる		訪問看護と連絡が密に出来ており職員も気軽に相談している
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院が出来るように入院中から職員が病院に面会に行き家族・病院と連絡を取り合っている。退院後のケアも主治医・リハビリ・看護師と連携している		出来る限り入院を避けられるよう支援している。病院と連携をとり、通院でも対応してもらえるよう関係作りをしている。職員も入院のリスクを把握している
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族に意向を聞き話し合いは行っている。主治医とも話し合っている。職員の中にはまだ不安を抱えている者もある		ホームの出来る事・出来ないことは家族に説明している。終末期介護に対しての勉強会は行ったが回数を重ねていく必要は感じている
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在も職員・医師・看護師と家族と連携をとりながら支援している。今後も話し合う機会を十分にとりチームケアを行う		職員の不安・負担を少なくしていけるように研修会・カンファレンスの機会を設ける

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族との連携をしっかりとるようにしている。在宅ケアマネなど以前かかわっていた方との情報交換も行っている。</p>		<p>入居者さまに負担のないように情報交換を続けていきたい</p>
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーには特に注意している。朝の申し送りなどでも、言葉掛け・対応はお互いに注意し合っている</p>		<p>記録の保管場所の検討をしていきたい</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>生活歴や家族からの情報を基に思いや希望を表しやすいよう働きかけている。個別に対応を心がけ、自分らしい生活が出来るように支援している</p>		<p>話しやすい雰囲気を作り自己決定が出来るように支援していく</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者さま一人一人にあわせ個別対応を実践している。職員の決まりはとくになく、その日そのときしたいことを優先できるように心がけている</p>		<p>職員は入居者さまが話しやすい雰囲気を作ると共に、職員もゆったりとした気持ちで対応するよう心がけている</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>一部の入居者さまが近隣の美容院に出かけている。本人の希望する髪形にされている</p>		<p>意思疎通の困難な方にも以前されていた髪形や、衣類の好みなどを聞きその人らしさを大切に支援していく</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材は配達されるので購入の機会は少ないが、調理・下ごしらえは入居者さまと職員とで一緒におこなっている。苦手な方は配膳など出来るところを一緒にしている</p>	<p>入居者さまに得意の料理を披露していただき、職員と一緒に楽しんでいただいている</p>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>希望や趣向にあわせた飲み物・おやつが提供できるよう支援しているが飲酒は家族と一緒に出かけた時のみになっている。</p>	<p>喫煙されている方はいないが希望があれば対応していきたい</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>リハビリパンツ・オムツは出来る限り使用していない。座位を取れるかたには布パンツで過ごしていただき、トイレでの対応をおこなっている</p>	<p>排泄のパターンを把握していき、気持ちのよい排泄が出来るよう支援していきたい</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日・時間は特に決めておらず、出来る限り希望に沿うようにしている。夕方の入浴希望があった場合にも対応していた。</p>	<p>安全を考慮し、職員の多い日中の入浴が多くなっている。出来る限り希望に沿っていきたい。また入浴が嫌いな方の対応も検討していきたい</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>眠剤に頼ることなく、自然な睡眠がとれるように支援している。今までの生活習慣を大切にし昼寝をとられたりしている。</p>	<p>安心して落ち着いた休息が取れるよう支援を続けたい</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>趣味や家事などご本人の負担にならない程度で役割を持ってもらっている。</p>	<p>家事以外の役割も検討していきたい。趣味や特技を生かした役割を持ち楽しんでいただけるように工夫していく</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理の出来る方はご本人が管理し、買い物にも行かされている。管理の難しい方にはお支払いのみお任せし、お金の受け渡しをしてもらっている</p>		<p>希望や力に合わせ、現金の所持を見守り支援していきたい</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩は毎日行っている。公園でのラジオ体操や近隣の方との挨拶など日常的に行っている。買い物・ウインドショッピングにも出かけられる</p>		<p>入居者さまから、行きたい場所などが出るように支援し、実現できるよう工夫していく</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>外食や外出時に家族様と一緒に出かけホーム内とはちがう雰囲気を楽しんでもらっている。希望があればドライブで少し遠出もしている</p>		<p>普段いけないところには一部の方のみになっている。体調などを考慮して多くの方に外出の機会を提供していきたい</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自室に電話を引かれている方もおり、家族とは連絡が自由に取りやすく支援している。家族からの電話には出来るだけご本人が出ていただき声を聞いていただけるよう支援している</p>		<p>手紙を書ける方が一部になっているため、今後工夫していく必要を感じる</p>
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>家族・知人・友人の面会をよくある。自由に居室で過ごしたり、外出などもされる。ほかの入居者さまと家族のようにリビングで団欒されることもある</p>		<p>家族・友人が気兼ねなく自由にいつでも遊びに来られるような雰囲気作りを心がける</p>
(4) 安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>学習会を開き「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」について職員が共有し、常に拘束しないケアに取り組んでいる</p>		<p>継続して学習会を開き身体拘束になるような行為はとらないように意識していきたい</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員が出入り口にいたり、目が届く限り開錠には 努力している。		危険が考えられるばあいは施錠しているが、でき る限り開錠に取り組んでいる
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、 安全に配慮している	職員は常に利用者さまの所在を確認しながらケア をし、職員間での連携もとれている		昼夜を問わず利用者様が居室の鍵を掛けられた 際、声掛けしながら開錠し安全面に配慮している
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	危険判断が出来る利用者様には必要な物品は自己 管理していただいている。注意の必要な物品は、 見守りを十分にした上で使用している		通常注意の必要な物品はフロアに置いていない。 職員の目の届く範囲にあり入居者の方とは一緒に 使用している
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを作成・回覧し危険を予測できるよ うにしている。学習会を開催したり・消防訓練を 行っている		全員が理解できるように制度についての学ぶ機会 をもつ。年間の勉強会の予定に入れていく
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行っている	主治医・看護師の指示で応急手当や初期対応はし ているが、まだ一部の職員しか出来ていない		学習会を開き職員全員が緊急時に対応できるよ うにしていく。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日頃より地域の人々の協力を得られる よう働きかけている	消防訓練は定期的に行っている。まだ地域のと連 携はできていない		地域との連携を密にし災害緊急時に協力を得られ るようにしていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	自由な生活を送っていただくように支援している。その中でのリスクは家族様に説明は行っている。		定期的話し合う機会を持ちおたがいの意識を確認していきたい
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調変化・異変に関して情報を職員間で共有するよう努めている。フロア長に情報をまとめ、速やかな情報交換をしている		今後も正確な情報交換を職員全員が対応できるようにしていく
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬に関してはどの職員も把握できるようにしている。症状の変化の確認に努めている		新しい職員にも副作用まで把握できるように学習会を行い、意識していく。
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	雑穀米を取り入れたり牛乳・豆乳・繊維質なども積極的に取り入れている		バランスの取れたメニューをもとに調理をしていく。また運動を日々の生活の中に自然に取り入れていく
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアは実施している。舌ブラシを使用している方もいる		看護師や協力してもらっている歯科医の指導の下検討していきたい
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自由に飲める白湯を用意している。要望があれば好きな時に飲用できるようにしている。職員は把握し一日の水分摂取量の把握もしている。		ご自分から希望できにくい方に注意をしていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	学習会をし意識している。手洗いを徹底し台所周りの衛生管理に注意している		勉強会でのテーマに取り入れ、学習している。またいつでも閲覧できるようにしている
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食事担当をきめ担当者が中心となって賞味期限・衛生管理を徹底している		新鮮な食材が毎日搬入されている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには様々な花を植え入居者・家族と楽しんでいる。中庭にもベンチを置き気軽に出入りし易くしている。また玄関ホールにテーブル・椅子を置き休憩できるスペースをとっている		季節の花々、木々の手入れを入居者さまと一緒にしたり、家族・来訪者にもくつろいでいただけるように工夫していく
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分は行事の写真や利用者の作品を展示したり、季節に応じた飾りを利用者と一緒に工夫している		ちぎり絵・手芸など出来ることを多く取り入れ心地よい空間を作れるようしていく
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置を工夫して、一人になれる空間を作っている。また玄関ホールの利用も行っている		廊下・空きスペースの利用も検討したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や備品を持ち込んで頂き、居心地のよい空間作りを支援している。		家族様の協力を得ながら、工夫していきたい
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気よどみはなくにおいも職員が窓をあけ換気に気を配っている。また室温も入居者さまと一緒にまめに行っている		換気や室温調節は常に気をつけているが、湿度にも気をつけていきたい
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館車椅子での移動が簡単になるようになっていくがフロア移動が職員の介助が必要である。フロア内の移動時は出来る限り見守り、手を出し過ぎないようにし自立を促している		介助の必要な部分・見守りでよい部分、自立できている所をしっかりと把握し安全を確保しながら支援をしていく
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	声かけ誘導により出来る限りの力を生かして頂くよう工夫している		利用者さまの混乱を防ぐためトイレや居室に場所名や表札を貼り工夫している
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭・ベランダなど自由に出入りし楽しんでもらっているが、一部の入居者さまは危険が伴うため職員と一緒に出入りしている		安全を考慮し、今以上に中庭・ベランダの活用を考えていきたい

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)